

學生射擊聯盟狀

趣 意 書

一國ノ興廢ハ國民精神趨向ノ如何ニアリ 國家一日モ無カルベカラザルモノハ青年ノ士氣ナリ 學業ノ習得ト國家思想ノ涵養トハ車ノ兩輪ノ如ク 文事アルモノ亦必ラズ武備ナカルベカラズ

「一旦緩急アレバ義勇公ニ奉ジ 以ッテ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スベシ」ト聖訓日月ト之レ明ナラズヤ 熟々吾國四圍ノ狀況ヲ顧ルニ歐洲大戰以來國民ノ負擔ハ過重シ 殊ニ大震火災後ニ於テハ財政困難ニ陥リ 爲ニ四圍ノ脅威ヲモ顧慮スルノ隙ナク 遂ニ軍備ハ縮少セラレ 加フルニ他面世界經濟ノ我國ニ對スル壓迫ノ影響ト生活困難トヨリ生ジ來レル思想ノ惡化ハ其ノ勢滔々トシテ大河ノ逆ルガ如シ

嗚呼 吾國家ノ將來果シテ如何ゾヤ 彼此交々慮ヲ廻ラセバ轉戰慄禁ジ難キモノアリ 惟フニ國家ノ興廢一ニ懸リテ青少年ノ雙肩ニ在リ吾人豈ニ自醒スルトコロナクシテ可ナランヤ

然リ 青年ノ士氣ヲ以ッテシテ天下ニ疾驅セバ萬難ヤ排除スベク 國運ノ隆盛ヤ必スベシ 然リト雖大言ハ易ク 眞ニ行フハ難シ 故ニ吾等青年學生ハ謹ミテ行ヒ 忠實學事ニ勉勵シ品性ヲ高メ身體ノ健康ヲ増進シ 質實剛健ノ氣風ヲ養成シ 更ニ團體的規律統制ヲ守リ一旦緩急アルノ秋ニ際シ直ニ自己ノ任務ヲ全ウスルコトヲ得テ 上聖慮ニ報ジ奉リ 國家ヲ泰山ノ安キニオクノ慨アラザルベカラザルナリ 茲ニ吾人射擊ニ志ス者 ヨク右ノ精神ヲ體シ勇敢ニシテ剛毅 沉着ニシテ果斷 最モ規律ヲ重ンジ節制ヲ尚ビ 之ヲ行フコト活潑ナラザルベカラズ

而シテ平時ニ於ケル國民訓練ノ必要ハ南北戰爭以來 米國夙ニ之ヲ確認シ近ク歐洲大戰以後歐洲各國共ニ競フテ之ヲ實施シ 其成果頗ル顯著ナルモノアリ

今ヤ吾國モ亦漸ク之ヲ青少年ニ實施セントス 吾等學生相協リ 射擊聯盟ヲ組織シ率先シテ義ヲ唱ヘ躬行實踐 一般青少年ノ模範タルヲ期シ 以ッテ國家ノ隆昌ニ貢獻セント欲スルモノナリ

大正十四年二月八日

學生射擊聯盟會長

山 川 健 次 郎

右ノ趣旨ニ賛同シ其目的ノ貫徹ヲ期ス 依ッテ茲ニ誓フ

日本醫學專門學校射擊部	幹 事	天 谷 正
法政大學射擊俱樂部	幹 事	井 上 徳
東京商科大學射擊部	幹 事	松 崎 鍵 蔵
早稻田大學々生軍事研究團	幹 事	大 滝 和 一
明治大學射擊部	幹 事	有 馬 幸次郎
早稻田大學射擊會	幹 事	赤 羽 厚
東京帝國大學小銃射擊部	幹 事	江 東 章三郎
慶應義塾大學射擊蒼	幹 事	楨 武 彦
東京高等商船學校射擊部	幹 事	猪 狩 忠 正

大正十四年二月八日加盟

大倉高等商業學校射擊部	幹 事	松 尾 繁太郎
-------------	-----	---------

大正十四年六月六日加盟